

## 組 織 工 学

平 野 雅 章 教授

### 1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

当研究プロジェクトのテーマは、「組織の適応力と有効性の構築」ですが、当テーマには3つの接近法があります。第一は、「通時的」方法で、たとえば、組織が、技術発展に起因する環境変化などどう対処し、変化のもたらす可能性からいかに優位性を獲得するか等を研究します。第二は、「共時的」方法で、たとえば、組織が事業の国際化などによってもたらされる多様性にどう対応し、その強みをいかに活用するか等を研究します。第三は、「文脈的」方法で、たとえば、組織が、営利・非営利・公企業などの違いによる困難をどう管理し、いかに社会へ価値を付加するか等を研究します。

### 2. 指導方針

研究テーマの選択に際して「組織工学」という領域は広義に解釈されるべきですが、接近法は実証的でなければなりません。インテルの共同創立者であるアンドリュー・グロブの有名な発言に「計測なくして、経営なし」とありますが、マネジメントの研究も同様です。勿論定性的な研究も可能ですが、「質」を測定するよう最大限努めねばなりません。また、在学中、然るべき学会での発表や学会誌への投稿を通じて、研究フロンティアの拡張に積極的に参加することが求められます。指導モットー:「最良の学術研究は、最も実践的でもある」

### 3. 学生に対する要望・その他

当研究指導を希望する受験生は、まず、多様な接近法・フレームワーク・立場などを実験してみるオープンな心構えが必要です。また、統計・組織・戦略・IT など概念とツールの強固な理解が参加の前提ですが、(これらが足りなくても)分析力に特に秀で学習の速い受験生も歓迎します。しかし何よりも、学習への熱意と、先進的な研究グループの一員として活躍する意欲が期待されます。十分な英語力が不可欠です。